

第11回全道小学生低学年（U9）アイスホッケー大会について

1. 大会の趣旨

この大会は、次に掲げる事項を目的として開催する。

- (1) 「アイスホッケーが楽しい」と参加選手全員が感じてもらうことを最優先する。
- (2) 参加全チームが勝ち負けにかかわらず同じ試合数を戦うこと。
- (3) 出場選手には均等にオンアイスとの時間を与えること。
- (4) 出場選手にゴールの機会を与える配慮をすること。

2. 競技規則に関して

第1号 リンク

- (1) 競技は、通常のリンクを3分割したクロスアイスリンク（ブルーラインからゴールライン側のアタッキングゾーン内）で行う。
3分割した真ん中のゾーンは両チームの控え選手待機場所（ベンチ代わり）等に使用する。
- (2) センターライン・ブルーライン・ゴールライン・ゴールクリーズは設定しない。
- (3) ゴールは、ミニゴール（1300mm×900mm）の使用を原則とする。
※ 但し、各リンク所有のミニゴールが上記サイズでない場合はそれを使用する。またミニゴールを用意できない場合は通常のゴールの使用もありうる。
- (4) 2分割の場合は、フェンスとブルーラインの間をクロスアイスリンクとする。その場合、ブルーラインとセンターライン間にプレイヤーズベンチをおく。

第2号 チームとプレイヤー

○ チーム構成

- (1) 競技は、3 on 3による3ピリオド制で行う。
- (2) 1チームの選手は、プレイヤー9名（SUB0～2名以内）、GK1名、役員は最低1名とする。役員は各連盟からの引率責任者とし、そのほかのコーチ（お手伝い）として保護者2～3名をベンチに入れてもよい。

○ 試合中の氷上のプレイヤー

- (1) チームは試合中に4人（ゴールテンダー1名とスケーター3名）以上の選手を氷上に出すことはできない。

第3号 スケーターの用具

○ 顔面の保護と首・のど用プロテクター

- (1) 全てのプレイヤーはパックもスティックのブレードも貫通できないように作られたフルフェースマスクを着用しなければならない。
- (2) 全てのプレイヤーは首・のど用プロテクターを着用しなければならない。

第4号 プレー規則

○ 試合の進行

- (1) 各ピリオドは、9分間のロス込みランニングタイムで行う。インターバルは各ピリオド1分間と

する。練習は、試合前の3分間とし、パックの使用を認める。

(2) ボディーチェックは禁止とする。

○ スコアクロック

(1) スコアロックは試合の時間を計測し、0:00 からピリオドの長さ(9分・1分)までUP計時で表示する。

○ パック

(1) パックは、ブルーパックを使用する。

○ タイムアウトおよび延長ピリオド

(1) タイムアウトおよび延長ピリオドはなしとする。

○ ペナルティー・ショット・シュートアウト (P S S)

(1) 3ピリを終了して同点の場合、ただちに3名ずつによるP S Sを行う。それでも決しない場合、P S Sを行った3名を除くプレーヤーによるサドンデスのP S Sを行う。全員がP S Sを行った場合は2巡目にはいる。

(2) P S Sは両方のゴールを使用する。

第5号 プレー規則/プレーの中断

○ アイシング・ザ・パック及びオフサイド等

(1) アイシング及びオフサイドは適用しない。

(2) ピリオドの開始とGKがパックをセーブした際のリスタートは、センターと仮想エンドスポット4箇所でのフェイスオフで行う。

(3) 攻撃側の選手が相手側のGKに直接接触した場合は、インクリーズとして試合をストップさせる。(GKに対するスラッシングなどの反則は通常どおりペナルティを課す)

○ スケーターの負傷

(1) 試合中、怪我もしくは体調不良によりプレーが続行できなくなった時は、オーダー表の順序を繰り上げ、セットを再編成する。

(2) GKが上記の理由でプレーできなくなった時は、試合のないチームから借りることを認める。

第6号 競技規則/選手交代

(1) 選手交代は、1分間毎に鳴らされるブザー音に合わせて行い、登録選手全員(9~11名)を順番に出場させる。

第7号 競技規則/ゴール

(1) ピリオド内に1人のプレーヤーがゴールできるのは、2点までとする。その後、ゴールしてもそのプレーヤーの得点として記録はしない。

ただし、出場選手の3人とも2点をゴールした場合は、さらに、得点としてが記録される。

第8号 競技規則/ペナルティ

(1) I I H F 国際競技規則に明記されているいかなるペナルティに対しても、ペナルティが発生した場合は、ペナルティショットを与える。

(2) ペナルティショットを行う選手はペナルティショットを受けた選手が行う。ただし、キーパーの

場合や監督のペナルティは、滞氷選手の中でペナルティショットの回数の少ない選手を監督が指名する。

3. その他

第1号 ゲームオフィシャル

- (1) レフェリーは、ロス込みランニングタイムで行うことを考慮して、迅速な試合運営の観点から2人制で行う。
- (2) ゴールかノーゴールかの判断は、全てレフェリーが行う。
- (3) ゲームシートは作成しない。

第2号 勝敗及び順位の決定方法

- (1) リーグにおける勝ち点の計算方法は、次のとおりとする。
 - 27分勝ち 3点
 - 同点（P S S勝ち） 2点
 - 同点（P S S負け） 1点
 - 27分負け 0点